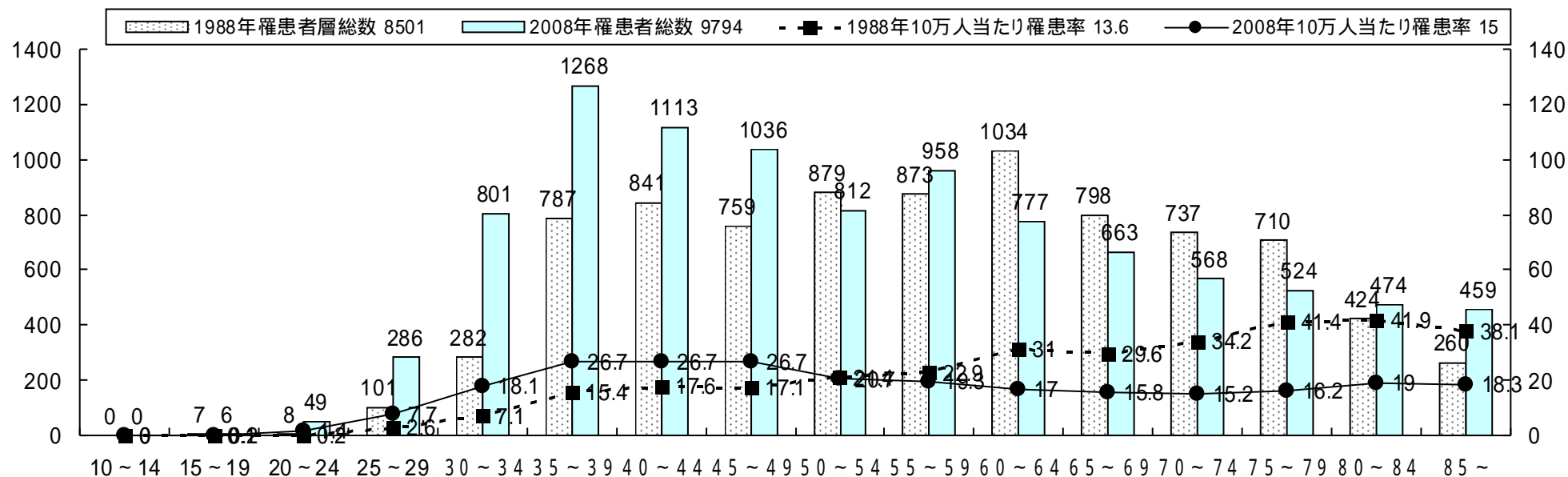
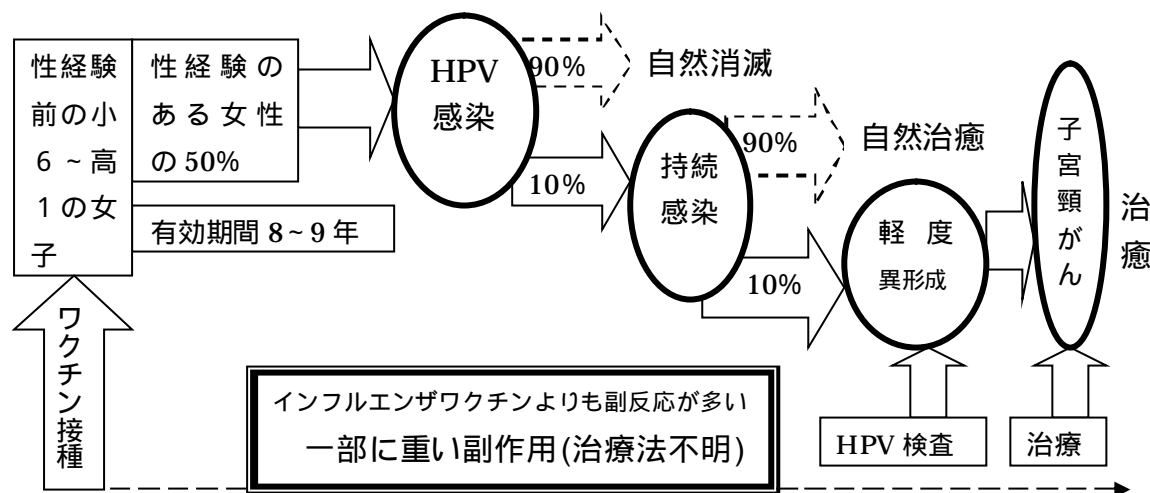


3、20年間の罹患者数・罹患率・死亡者数は、20代後半から罹患者は増加している。が、60代からの罹患は減少。

1998年と2008年の年齢別罹患者総数と10万人あたり罹患者数比較(国立がんセンターがん情報センターデータよりグラフ化)



4、HPV感染から子宮けいがんに至るまで



5、重篤な副反応の症状

- ・アナフィラキシー反応(多尿・呼吸困難・低血圧・脳炎・失神・意識不明・蕁麻疹・紅潮・血管性の浮腫(口唇、顔面、首、咽喉の腫脹):生命の危機を呈することがある・掻痒・下痢・腹痛・不安
- ・気管支痙攣
- ・ギランバレー症(運動神経の障害・反射弓の障がい・感覚神経障害・自立神経障害)
- ・血小板減少性紫斑病
- ・急性散在性脳脊髄炎
- ・錐で刺される・ハンマーで殴られる痛み

医療情報が集積されていないため、証拠とならず、接種しながら医療情報の集積を待つ状況